

◇内部評価の基準

- A 目標を達成している。
- B おおむね達成しているが、改善を要する。
- C 次年度以降の課題を要する。

◇事業の方向性

- ・継続
- ・拡充
- ・廃止

第5章 「健康と福祉のまち」づくり

第3節 結婚・妊娠・出産・子育ての充実

I 地域における子育て支援

施策の方向	①子育て支援の充実					
<p>主な事業内容と成果</p> <p>○子育て支援センターが直営となってから2年が経過し、子育て親子の交流促進や子育てに関する相談、情報提供など継続した利用が得られている。併せて、働いている保護者や保育所等に入所させている保護者が相談等を利用できる日として平成30年度についても第2土曜日の午前中を開所日とした。また、食の大切さを見直す機会として映画「いただきます」の上映会を行った。</p> <p>参考：延べ利用者数 子育て支援センター：694人 わんぱく広場：518人 青空わんぱく：51人 赤ちゃん広場：50人 リフレッシュ講座：50人 映画上映会：131人</p> <p>○保育所やこども園等を利用する保護者に対し利用者負担金（保育料）を軽減し、保護者への直接的経済支援を行った。</p> <p>○町内3カ所の小学校での放課後児童クラブ（学童クラブ）を継続実施し、春休みに真室川学童クラブで町外国語指導補助員等2名による英語教室の開催や放課後児童総合プランにおける「放課後児童子ども教室」との一体的事業を行った。</p>						
<p>教育委員会の評価と今後の方針</p> <p>子育て支援センターが直営になり、利用する子育て親子に事業内容・場所など定着され、特に子育て支援センターへの利用者が増加し、相談事業や広場事業等の中で保護者から直接話を聞く機会が増えた。</p> <p>今後、働きながら子育てを行っている保護者が増加傾向にある中、子育てには母親・父親だけでなく、祖父母や地域のサポートが必要であることから、子育て支援センターを中心に世代間交流ができる場の提供、「食」の大切さを伝える機会を継続して実施する必要がある。</p> <p>また、子育て世帯の経済的負担を軽減し、安心して子育てができるよう、家庭で子育てをしている保護者に対する支援を検討する必要がある。</p>	<table border="1"> <tr> <td>内部評価</td> <td>事業の方向性</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>継続</td> </tr> </table>	内部評価	事業の方向性	B	継続	
内部評価	事業の方向性					
B	継続					
<p>外部評価委員の意見</p> <p>○子育て支援センターの直営により、子育て親子の交流や子育てに関する相談が多く寄せられ、センターの存在が益々大きくなっている。今後、相談員の増員など充実の必要がある。今後の方針として提案されている「支援センターを中心とした世代間交流が出来る場の提供」をぜひ進めてほしい。</p> <p>○支援センターについて、子育てをする人にとってありがたいと思う。「相談できる場所がある」という広報活動をもっとしてほしい。また、利用者にアンケートを実施して、開催日、開催時間、相談内容についてのフォローや感想等により、改善・改良していったらどうか。広報の仕方について、回覧だけでなく、予防接種や検診の機会など、情報が行き届くように配慮が必要と思う。</p> <p>○学童クラブについて、宿題の後に遊ぶこと等の放課後の生活リズムが身につくと思う。また、真小の場合は、学校と同じ敷地内のため安心して通わせることができる。</p>						

施策の方向	②教育・保育サービスの充実				
<p>主な事業内容と成果</p> <p>○保護者の就労形態の多様化や突発的に保育が必要な保育ニーズに対するサービスの充実のため、延長保育事業や一時預かり事業の継続実施した。</p> <p>○就学前教育・保育の充実を目指し、教育・保育施設である保育所とこども園の年長交流等を実施し、児童はもちろん職員を含め町内施設同士の連携を図った。また、特別支援教育や就学を見据え行事参加や情報交換を通じて「保小連携・こ小連携」を行った。</p> <p>○教育・保育の充実に向け、山形大学地域教育文化学部 教授 野口徹氏を講師に迎え、こども園・町立保育所の保育士を対象に保育の質の向上研修会を各施設で実施した。</p>					
<p>教育委員会の評価と今後の方針</p> <table border="1" data-bbox="1082 618 1445 698"> <tr> <td data-bbox="1082 618 1235 663">内部評価</td> <td data-bbox="1235 618 1445 663">事業の方向性</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1082 663 1235 698">B</td> <td data-bbox="1235 663 1445 698">継続</td> </tr> </table> <p>近年、未満児の入所希望が増えている状況にあり、少子化に伴う就学前児童（0～5歳児）全体での利用ニーズも含め利用施設について今後さらに検討が必要である。併せて一時預かり事業や延長保育事業は子育て中の保護者に必要な事業として継続実施が必須である。</p> <p>町として目指す子ども像への共通理解のため施設同士の連携はもちろんのこと、こ・保・小のスムーズな接続を図るため、学校、学校教育担当との連携、保育士の資質向上及び専門性の向上を図るための研修の機会を継続して行う必要がある。</p>		内部評価	事業の方向性	B	継続
内部評価	事業の方向性				
B	継続				
<p>外部評価委員の意見</p> <p>○保護者の就労形態の多様化等の影響で、延長保育や一時預かり等の要望は増加すると予想され、保育士の増員が必要になると思われる。有資格者の計画的配置を進めてもらいたい。</p> <p>○保育料の負担軽減や一時預かり、延長保育など就労している保護者にとって大変ありがたい。もっとPRして良いのではないか。</p>					

第6章 「心豊かな人と文化を育むまち」づくり

第1節 学校教育

I 確かな学力と自立する力の育成

施策の方向	①学力向上プランに基づく確かな学力の定着
主な事業内容と成果 ○NRT（標準学力検査）や全国学力・学習状況調査の結果を分析し、具体的な課題や取り組みを各校に示し、学力の向上に取り組んだ。 ○学力向上対策特別推進事業として、家庭学習支援講座「梅の里チャレンジ塾」を小学校6年生と中学校1年生を対象に開催。中学生については家庭学習を習慣化できるよう通年開催とした。 小学校6年生 開催回数：5回、参加人数：143人（延べ人数） 中学校1年生 開催回数：20回、参加人数：174人（延べ人数） ○教職員の資質向上を図るため小中連携研修会等を実施し、授業改善や共通指導事項の徹底を図った。 ○学力の定着を図るため、学校での学習と家庭での学習を連動させるため、町で作成している「家庭学習のすすめ」のダイジェスト版を新入生の家庭に配付して、引き続き家庭学習の習慣化に取り組んだ。	
教育委員会の評価と今後の方針 学力向上プランを作成し、全国学力・学習状況調査の結果を分析することで目標や課題が明確になり、教職員全体が共通した指導を行うことができた。 教職員の資質向上につながる研修会（小中連携研修会等）の実施を継続して行う。 「梅の里チャレンジ塾」は部活等で欠席の生徒が多く見られたため、参加しやすい日程を検討していく。	
外部評価委員の意見 ○「梅の里チャレンジ塾」の開催は、町が本気で学力向上に取り組もうとしている姿勢が感じられる。今後は、塾の内容の充実が課題と思われ、子どもたちが受講して良かったと思える講座内容を期待する。児童生徒に対して、学校から夏休み期間等に出される課題の量が多いようである。塾を続ける際には、児童生徒の負担も考慮してほしい。 ○公営塾は、子どもにとっても親にとってもありがたいと思う。もっとPRしてほしい。また、良い活動として継続するために、アンケート等により少しずつ改善していければ良いと思う。	

施策の方向	②特別支援教育の充実	
<p>主な事業内容と成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育推進委員会の設置 ○専門家チームによる巡回相談の実施（こども園、保育所、小中学校 年間各2回程度） ○教職員等の特別支援講座への出席 ○就学時健診時、保護者講演会の開催 ○保育士研修会の開催（年1回） ○児童生徒の一人一人の学習が保障されるよう、各校に学習指導員・支援員を配置 （真小：指導員2名、支援員1名、あ小：指導員1名、北小：指導員1名、 真中：指導員2名、支援員1名） 		
<p>教育委員会の評価と今後の方針</p> <p>特別支援教育推進体制を整え、専門家による個別な支援を必要としている幼児及び児童生徒の実態把握と職員全体の知識を深めるための研修会を実施している。その効果として、指導方法の共通理解を図られ、適切な支援や指導が早期に対応できるようになり、こども園、保育所、小中学校に在籍している個別の支援が必要な児童生徒の適切な就学に繋がっている。</p> <p>今後も特別支援講座への積極的な参加や保育士研修会等、職員全体のスキルアップを行っていく。</p>		
	内部評価	事業の方向性
	A	継続
<p>外部評価委員の意見</p> <p>○巡回相談はぜひ継続してほしい。特別支援教育に関する新しい情報や指導法等を現場に届けてほしい。各校に配置されている学習指導員、支援員の配置を継続してほしい。特別な支援を要する児童生徒は、確実に増えているのが現実である。</p>		

施策の方向	③幼・保・小・中の連携	
<p>主な事業内容と成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小学校区ごとに連絡会議や行事参観などを通してつながりを意識した指導の在り方の連携を図った。 ○各校のスタートプログラムの見直し、小学校へのスムーズな接続が行われるように努めた。 ○小中学校の職員が共通した指導の在り方を学ぶため、教育研修会「学びづくり研修会」を年3回実施した。 ○中学校へのスムーズな接続が行われるよう、小学校3校の同学年ごとに年1回の交流会を行った。 		
<p>教育委員会の評価と今後の方針</p> <p>研修会等を通して小中学校の職員全員が教育内容や指導の在り方の共通理解を図ることができた。</p> <p>今後、こども園・保育所で遊びや協同的な活動を通して学んでいることを小学校と共通理解を図り、つながりを意識した指導の在り方を検討していく必要がある。</p>		
	内部評価	事業の方向性
	B	継続

II 豊かな心と健やかな体の育成

施策の方向	①いのちの教育・心の教育の充実	
<p>主な事業内容と成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各校で「いのちの日」を設定し、「いのち」について話す機会を設定した。 ○道徳や総合的な学習の時間等を利用した指導、動植物等の飼育など教育課程全体を通していのちを大切にしている取り組みを実施した。 ○町では、感性や情緒を育てるため、芸術鑑賞教室を年1回、演劇と山響コンサートを隔年で実施している。(平成30年度は演劇鑑賞を実施した。) 		
<p>教育委員会の評価と今後の方針</p> <p>「いのち」を大切にしている教育を町全体で推進している。</p> <p>学校全体でいのちを大切にしている取り組みを継続し、芸術鑑賞や交流活動等の体験活動を充実させ、豊かな心の育成に努める。</p>		
	内部評価	事業の方向性
	B	継続
<p>外部評価委員の意見</p> <p>○「いのち」について考える日として、家族でも命について話す機会にしてほしい。自分の出生時の家族の様子を聞いたり、祖父母になった日や父母になった日について聞いたりするなど家族を巻き込んだ取り組みも良いのではないかと。</p>		

施策の方向	②読書教育の充実	
<p>主な事業内容と成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各校で朝読書やボランティア団体による読み聞かせの実施 ○学校支援地域本部コーディネーターを各校に配置し、図書館や学級で図書に親しむための環境の整備を行った。 ○学校図書館を授業の調べ活動を行う場所としての活用 ○家庭の協力を得ながら、親子読書を奨励し、読書の習慣化を図った。 		
<p>教育委員会の評価と今後の方針</p> <p>図書費を予算化し、学校推薦図書等の購入を行い、図書標準冊数の確保に努めた。</p> <p>町読書活動推進計画に基づき、町図書室と連携した親子読書の啓発、読書活動の紹介等、さらに読書教育を充実するため、学校支援地域本部コーディネーター(図書支援員)の研修機会を検討していく。</p>		
	内部評価	事業の方向性
	B	継続
<p>外部評価委員の意見</p> <p>○町読書活動推進計画に基づいた活動が前進していると感じる機会が増えた。読み聞かせの時に子どもたちが真剣に聞いてくれるようになり、先生も教室と一緒に聞いてくれるので、読み手として嬉しい。読んだ後の子どもたちの様子を聞いたり、学級便りで紹介されたりすることが励みになっている。</p> <p>○家庭でも読み聞かせの習慣をつくってほしい。習慣になれば、子どもは自ら興味のある本を手に取り読むようになると思う。「読み」がしっかりできれば、国語だけでなく他の教科にも活かすことができる。</p>		

策の方向	③いじめ対策の充実と未然防止・早期対応	
<p>主な事業内容と成果</p> <p>○昨年度、国県の「いじめ防止基本方針」改定を受けて町の「いじめ防止基本方針」各学校の「いじめ防止基本方針」についても改定を行っているため、改定されたポイントについて改めて共通認識を図った。</p> <p>○町いじめ問題対策連絡協議会を年2回開催し、児童相談所や警察、学校等、関係機関でいじめの現状や撲滅に向けた取り組みの在り方について検討し、共通理解を図っている。</p> <p>○町いじめ問題対策専門委員会を年1回開催し、いじめ防止等の対策について調査や審議を実施した。</p> <p>○いじめアンケートや心理検査等を実施し、面談を行うことで児童生徒の悩みへの素早い対応やいじめの早期発見に努めている。</p> <p>○学校では、日常的に児童生徒の人間関係の把握に努め、定期的に相談を行える体制づくりをしている。</p>		
<p>教育委員会の評価と今後の方針</p> <p>第2回目の町いじめ問題対策連絡協議会を町いじめ問題対策専門委員会と合同開催することにより、各専門家の助言等を得ることができ、万が一、重大事案等が発生した場合に速やかに対応するため、外部機関と連携し、相談できる体制の構築を図ることができた。</p> <p>今後もいじめの早期発見・対応について定期的な把握を行い、引き続き未然防止に努める。</p>		
	内部評価	事業の方向性
	A	継続
<p>外部評価委員の意見</p> <p>○町民に対して、町のいじめ防止基本方針があることを周知してほしい。理想としては、町民一人一人がいじめに対しての意識を持ち、学校の中だけではないいじめの現状に気づき、声掛けできる環境になってほしい。</p>		

施策の方向	④体力・運動機能の向上	
<p>主な事業内容と成果</p> <p>○小体連（陸上・スキー）の実施</p> <p>○各校で全国体力・運動能力調査の分析を行い、全国平均より下回っている種目等の課題解決に向けた取り組みを行なっている。（ロング昼休みの設定や持久走記録会の開催等）</p> <p>○中学校の部活動への補助</p>		
<p>教育委員会の評価と今後の方針</p> <p>各校で持久走記録会を年2回開催するなど目標を持たせながら体力を向上させる様々な工夫を行っているが、スクールバス通学による運動不足等、全体的に体力の低下・二極化が進んでいる状況となっている。</p> <p>運動機能を向上させるためには継続した取り組みが必要であり、引き続きロング昼休みの設定や持久走記録会等、日頃から運動の楽しさや運動に親しむ工夫を行い、課題解決に努める。</p>		
	内部評価	事業の方向性
	B	継続
<p>外部評価委員の意見</p> <p>○スクールバスの利用が増え、子どもたちの運動不足は心配である。学校によっては、体育館を利用した様々な運動に取り組んでいるところもある。子どもたちの委員会活動とも連携させて、引き続き取り組みを継続させたい。</p>		

施策の方向	⑤食育の推進				
<p>主な事業内容と成果</p> <p>○町学校給食運営委員会や学校給食献立委員会で食育を推進し、連携を図った。</p> <p>○各校の食に関する指導計画に基づき、心を育む給食週間の設定や給食を通して児童生徒が特有の風土で培われた食文化や農作物を作ってくれる人たちへの感謝の心を育むような指導を行った。</p> <p>○アンケート等を通して家庭と連携し、望ましい食習慣の定着が図られるよう努めた。</p>					
<p>教育委員会の評価と今後の方針</p> <p>町全体で食育を推進しており、地場産物を活用したメニューを給食で提供するなど食文化の伝承に努めている。</p> <p>さらに保育所・こども園、学校、家庭、地域が連携し、食に関する指導計画に基づき、引き続き望ましい食習慣の定着を図っていく。</p>					
	<table border="1"> <tr> <td>内部評価</td> <td>事業の方向性</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>継続</td> </tr> </table>	内部評価	事業の方向性	A	継続
内部評価	事業の方向性				
A	継続				

施策の方向	⑥生活リズムの改善とメディアコントロール				
<p>主な事業内容と成果</p> <p>○学校保健委員会において、生活習慣やメディアとのかかわりに関する改善を目的に各家庭における「家族会議」から生活リズム等の目標立てを行い、実践内容を明確化し、取り組みを行った。</p>					
<p>教育委員会の評価と今後の方針</p> <p>目標の達成に向け、取り組みの事例を児童生徒間で共有するとともに振り返りを実践することで自ら取り組もうとする意識が向上した。</p> <p>「生活リズムアンケート」や「セーブメディアデー」等の期間を限定しての取組みをきっかけに、正しい生活リズムが継続されるよう、問題点や改善策について学校間やPTA 連絡協議会の中で協議するなど、連携しながら活動を拡大していく。</p>					
	<table border="1"> <tr> <td>内部評価</td> <td>事業の方向性</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>継続</td> </tr> </table>	内部評価	事業の方向性	B	継続
内部評価	事業の方向性				
B	継続				

Ⅲ 信頼される質の高い学校教育の推進

施策の方向	①特色ある学校づくりとキャリア教育、ふるさと学習の推進				
<p>主な事業内容と成果</p> <p>○中学校において、将来の夢の実現に向け「職場体験」や「上級学校訪問」を行った。</p> <p>○地域との関わり（伝承文化及び農業体験等）を重視した教育活動実施のため、各校の個別課題に沿った取り組みを支援し、活力ある学校づくりを支援した。</p>					
<p>教育委員会の評価と今後の方針</p> <p>地域の方の力を借りた学習を行うことで、各校と各地域との交流が深まり、開かれた学校づくりに繋がった。</p> <p>地域における伝承文化等に触れることで意義を考え、守り育てようとする意識が生まれ、今後も継承のための取組みを強化していく。</p> <p>「職場体験」は自身の将来像を見据えるには有意義な事業であることから選択肢の幅が広がるような企業訪問等を計画し、今後も具体的な目標を掲げ学習にも取り組めるよう支援していく必要がある。</p>					
	<table border="1"> <tr> <td>内部評価</td> <td>事業の方向性</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>継続</td> </tr> </table>	内部評価	事業の方向性	B	継続
内部評価	事業の方向性				
B	継続				

施策の方向	②PDCAのサイクルを確立させた学校経営の推進	
<p>主な事業内容と成果</p> <p>○各校において、保護者や児童生徒へのアンケートや教職員による自己評価を実施して、成果と課題を分析し、学校経営・学校運営の改善に努めてきた。</p> <p>○特色ある教育課程の編成を行い、学校の教育課題の解決に努めてきた。</p> <p>○学校評議員会を開催した。(中学校)</p>		
<p>教育委員会の評価と今後の方針</p> <p>各校において、より良い学校経営を行うため、目標を立て、意図的・計画的に経営を推進し、定期的に評価を行う「PDCAサイクル」の確立に努めた。</p>		
	内部評価	事業の方向性
	B	継続
<p>今後も学校評議員会等で保護者や地域の方からの評価をいただき、学校経営の改善を行っていただけるよう支援する。</p>		

施策の方向	③教職員の資質・能力の向上	
<p>主な事業内容と成果</p> <p>○校内研究に参画し、校内の課題解決に努めた。</p> <p>○教職員の専門性を高めるため、県主催の研修会へ積極的に参加した。</p> <p>○大学教授等の外部講師を積極的に招聘し、授業改善の研修を行ってきた。</p> <p>○教職員としての服務規律を遵守するために校内倫理委員会を開催した。</p> <p>○ストレスチェックを実施した。</p>		
<p>教育委員会の評価と今後の方針</p> <p>授業研究会や小中連携研修会へ訪問し助言等を行い、共通した指導が徹底されるよう努めた。</p>		
	内部評価	事業の方向性
	B	継続
<p>今後も学校の実態に沿った働き方改革(時間的ゆとり、精神的ゆとり)を推進していく。また、しっかりと子どもと向き合うために健康診断の受診を勧奨して、再検査等が必要な場合は早急に対応を行い、自己の健康管理が徹底されるよう努める。</p>		

施策の方向	④教育環境の整備・充実	
<p>主な事業内容と成果</p> <p>平成30年度は、北部小学校屋根改修工事、真室川小学校体育館床修繕等を行い、教育環境を向上させた。また、各小学校にタブレットを導入し、学習への興味・関心を高め、高度情報化社会に対応できる人材育成のための教育環境も向上させた。</p>		
<p>教育委員会の評価と今後の方針</p> <p>将来にわたり老朽化等による整備・改修が必要となるため個別の長寿命化計画を策定し、管理している。</p>		
	内部評価	事業の方向性
	A	継続
<p>国及び県の補助金を活用しながら計画的に教育環境の質的向上を図る。</p>		
<p>外部評価委員の意見</p> <p>○学校や保育所の改修・修繕が計画的に行われていることは、目に見える改善なので喜ばしい。</p>		

施策の方向	⑤体験活動・ボランティア活動の推進					
<p>主な事業内容と成果</p> <p>○各校で県神室少年自然の家等を活用し、宿泊体験学習や自然について学ぶ学習等を行った。</p> <p>○地域の産業である米や野菜作りを体験し、地域の食に繋がる人との関わりを通して栽培方法を学んだ。</p> <p>○通学路の清掃活動を実施した。</p> <p>○JRCに全校が加盟し奉仕の精神を学んだ。</p>						
<p>教育委員会の評価と今後の方針</p> <p>県立神室少年自然の家等を積極的に利用した体験活動や地域の奉仕活動を行うことで、社会性や共に生きる力の育成に繋がった。</p> <p>中学校においては、真室川まつりの翌日に清掃活動を行なうなど、地域での奉仕活動の幅を広げることができた。今後も現在の活動を継続していけるよう支援する。</p>		<table border="1"> <tr> <td>内部評価</td> <td>事業の方向性</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>継続</td> </tr> </table>	内部評価	事業の方向性	B	継続
内部評価	事業の方向性					
B	継続					

第2節 生涯学習の充実

施策Ⅰ 豊かな明日を築く生涯学習の充実

施策の方向	①生涯学習基本構想の推進					
<p>主な事業内容と成果</p> <p>○各課に1名所属する生涯学習推進検討委員による会議を開催し、町づくり出前講座の内容や周知方法等を検討し、町民の生涯学習推進に努めた。</p> <p>・町づくり出前講座 69件（H29年度50件）</p>						
<p>教育委員会の評価と今後の方針</p> <p>各課との連携を図りながら各種事業や出前講座を実施し、町民の生涯学習への参加や意欲の高揚に寄与した。</p> <p>講座実施件数が減少していることから、実践者が増えるよう、町民ニーズに対応しながら、各種事業を展開していく必要がある。</p>		<table border="1"> <tr> <td>内部評価</td> <td>事業の方向性</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>継続</td> </tr> </table>	内部評価	事業の方向性	B	継続
内部評価	事業の方向性					
B	継続					
<p>外部評価委員の意見</p> <p>○町づくり出前講座は、地域によって参加者に差があるように見受けられる。様々な会合で町が宣伝していくことが必要だと思う。</p>						

施策の方向	②地域課題・現代課題の解決	
<p>主な事業内容と成果</p> <p>○地域の宝である伝承文化の継承活動にアドバイザーを派遣し、指導や助言を行った。</p> <p>○高齢者が楽しく生きがいのある生活を過ごし、「健康寿命の増加」「美しく老いる」高齢者像を目指し、栄寿大学を開催した。(受講者数：39人、中央講座 2回、民謡体操 8回、軽スポーツ 6回、抹茶を楽しむ会 3回、お花を楽しむ会3回、お楽しみ会 1回)</p> <p>○男女共同参画パネル展の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6/23～29 男女共同参画週間パネル展 (中央公民館玄関ホール) 		
<p>教育委員会の評価と今後の方針</p> <p>伝承文化の継承に資するため、引き続きアドバイザーの派遣を実施していく。</p> <p>高齢者に生きがいのある生活を過ごしていただくために栄寿大学を開催し、更に主体的な学習や活動を行うことができるよう支援を行う。</p>		
<p>外部評価委員の意見</p> <p>○伝承文化の継承活動は、少子化の現在、継承者の確保が急務である。その地域に任せるだけでなく、アドバイザーの派遣など町としても引き続き支援してほしい。</p> <p>○高齢者を対象とした栄寿大学などの取り組みは、地域によって参加者に差があるように見受けられる。高齢者が参加する大会などの行事を扱ったニュースを大きいスペースで宣伝するなど、様々な会合でPRしていくことが必要だと思う。</p> <p>○伝承文化を継承するという点において活動支援は不可欠だと思う。資金面のみならず、後継者育成、活動するうえでの支援なども重要と感じる。</p>		
内部評価	事業の方向性	
A	継続	

施策の方向	③社会教育関係団体の育成	
<p>主な事業内容と成果</p> <p>○社会教育団体である町連合婦人会や町分館長連絡協議会、町体育協会等へ補助金を交付して活動支援を行うとともに育成指導や助言を行った。</p>		
<p>教育委員会の評価と今後の方針</p> <p>連合婦人会や体育協会等の社会教育団体の活動を充実させるために補助金を交付するとともに、社会教育指導員を配置しながら、町民の自主的な社会教育・社会体育活動の支援を行う。特に人口減少に伴う担い手不足、後継者の育成については各団体共通の課題であるので、団体育成と併せて周知・PR活動等も積極的に行えるよう支援していく必要がある。</p>		
<p>外部評価委員の意見</p> <p>○社会教育団体への活動支援は不可欠であると思う。資金面のみならず、後継者育成、団体が活動するうえでの支援なども重要と感じる。</p>		
内部評価	事業の向性	
B	継続	

施策の方向	④学社連携事業の推進	
<p>主な事業内容と成果</p> <p>○学校支援地域本部事業を実施し、児童生徒の学習支援活動や地域連携活動を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動内容 町内小中学校に1名ずつ学校支援地域本部コーディネーターを設置（計4名） コーディネーターが学習支援を行いながら、地域の活動支援者の協力により教育活動の充実を図った。 <p>○放課後子ども教室の学びの中で、子ども達の体験活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動内容 5月-3月 あさひ小放課後子ども教室 1・2年生 20名 6/16 トリワとハチョウトボ 観察会 小学生5名、幼児4名、大人16名 7/17 イバラトミヨ観察会 町内小学生7名、大人13名 8/1 科学体験教室 町内小学生28名 8/4 中村湿原 たて山 不動明王の滝観察会 町内小学生3名・大人11名 		
<p>教育委員会の評価と今後の方針</p> <p>学校での活動以外にも、児童生徒が安全安心に多様な活動が行える機会を提供することができた。地域が一体的、効率的に子ども達の教育について協議・検討する場である「教育プラットフォーム」の推進を図る推進協議会を設置し、学校・家庭・地域の連携協力のもと、学校教育への支援を継続して行う体制を整えた。</p> <p>今後は、教育プラットフォーム体制を活用しながら、更なる連携・協力を進めていく。</p>		
	内部評価	事業の向性
	B	継続
<p>外部評価委員の意見</p> <p>○小学生がよく参加しているように感じるが、中学生、高校生の参加が足りないと思う。また、いつも同じ参加者のように見えるため、もっといろいろな子どもたちに参加してもらいたい。地元の魅力を若い感性で感じ取って、それをPR活動に活かしてほしい。</p>		

施策Ⅱ 学習の場の充実とネットワーク化の推進

施策の方向	①生涯学習関係施設の整備充実	
<p>主な事業内容と成果</p> <p>○中央公民館施設の修繕等を行い、町民が利用しやすいよう環境整備を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大ホール照明設備修繕 ・防火シャッター改修工事 <p>○分館施設整備補助金・運営補助金についてアンケートに基づいて要望書を提出いただき、補助拡充につながった。（施設整備補助対象の拡充 分館運営費2万円⇒4万円）</p>		
<p>教育委員会の評価と今後の方針</p> <p>中央公民館は学習活動の拠点であることから、町民が利用しやすいように修繕等を実施し、学習環境の整備を図っていく。分館補助については、各分館の実情とあっているか、随時確認しながら事業を執行する。</p>		
	内部評価	事業の方向性
	B	継続

施策の方向	②図書利用サービスの向上					
<p>主な事業内容と成果</p> <p>○図書の利用促進を図るため、図書展示の工夫や図書利用サービスの向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立図書館特別一括借用 年4回 831冊 (H29年度910冊) <p>○広報まむろがわに毎月、図書室の記事を掲載し、情報の発信に努めた。</p> <p>○利用者のリクエストや問い合わせへの対応など、読書への関心が高まるようサービス向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受入冊数実績 380冊、図書の貸出 2,492冊 (H29年度 受入343冊 貸出1,689冊) ・個人発注による県立図書の受取館としての利用件数 27件 (H29年度35件) 						
<p>教育委員会の評価と今後の方針</p> <p>中央公民館の玄関ホールに新作図書やおすすめ図書の展示を行うなど図書を利用しやすいよう工夫をして、利用者も増加している。</p> <p>今後は、玄関ホールの図書配置を工夫し、ホールで図書閲覧がしやすい環境を作るなどサービス向上に努めるとともに、街中図書館構想づくりを進め、多くの町民が図書に触れやすい環境づくりを行っていく。</p>						
		<table border="1"> <tr> <td>内部評価</td> <td>事業の方向性</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>継続</td> </tr> </table>	内部評価	事業の方向性	B	継続
内部評価	事業の方向性					
B	継続					
<p>外部評価委員の意見</p> <p>○図書利用促進を図るため、様々な努力がなされていることに感心した。町広報にも新刊の紹介があり、身近な存在になってきている。中央公民館の玄関ホールの図書展示は工夫が見られ、訪れた人が手に取りやすくなって良かった。</p>						

施策の方向	③情報提供・指導体制の充実					
<p>主な事業内容と成果</p> <p>○年度当初に生涯学習に関する各種事業や行事、出前講座メニューの周知を行った。さらに町ホームページや区長文書による事業周知や広報まむろがわを活用した各種学習事業について情報提供の充実を図った。</p> <p>○社会教育指導員を配置し、社会教育に関する各種事業の展開や社会教育団体への育成指導助言を行い、町民の社会教育への意欲の高揚に努めた。</p>						
<p>教育委員会の評価と今後の方針</p> <p>各種情報媒体を活用し、各種事業の情報提供に努めたが、町民アンケートでは、より一層の情報提供を望む意見があった。</p> <p>各種事業において、より効果的な周知を図るため、各種媒体の活用や報道機関への情報提供も行うとともに、電子媒体やSNSなどニーズにあった情報発信のあり方について検討していく。</p> <p>引き続き社会教育指導員を配置し、町民への育成指導助言を行っていく。</p>						
		<table border="1"> <tr> <td>内部評価</td> <td>事業の方向性</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>継続</td> </tr> </table>	内部評価	事業の方向性	B	継続
内部評価	事業の方向性					
B	継続					

施策Ⅲ 家庭の教育力向上と青少年の社会力育成

施策の方向	①家庭教育の充実					
<p>主な事業内容と成果</p> <p>○主に小中学校の保護者を対象とした「やまがた子育て講座」を開催し、学習機会の提供に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座数 4講座 (真室川北部小 6/22 38名、11/16 22名、真室川小 9/27 300名、真室川あさひ小学校 11/16 46名) <p>○保育所等幼児とその保護者を対象とした「幼児共育ふれあい広場」を開催し、体験や学習機会の提供に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座数 保育所 4講座、たんぼぼこども園 1講座 安楽城保育所： 6/23 65名 10/18 20名 釜淵保育所： 10/3 45名、1/10 52名 たんぼぼこども園： 67名 <p>○読書を通じた教育（読育）の推進を図るため、読み聞かせの実施やボランティアの活動支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7/18 読みきかせライブ（交流会）24名 ・12/15 おはなし広場クリスマス会 27名 						
<p>教育委員会の評価と今後の方針</p> <p>家庭においては家庭教育の重要性が浸透してきているが、今後は地域全体で子どもを見守る意識の向上も目指していく。</p> <p>今後も、こども園、保育所、学校、地域と連携を図りながら事業を進めていく。事業の評価と今後の実施の参考とするために実施している講座アンケート結果を参考に、ニーズにあった事業の見直しを行っていく必要がある。</p>						
<p>外部評価委員の意見</p> <p>○「やまがた子育て講座」「幼児共育ふれあい広場」の開催、読み聞かせボランティア支援を継続していく必要がある。参加者の多さに驚いた。今後は、ニーズにあった事業の見直しを図ってほしい。</p>		<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1123 1153 1251 1202">内部評価</td> <td data-bbox="1251 1153 1436 1202">事業の方向性</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1123 1202 1251 1252">B</td> <td data-bbox="1251 1202 1436 1252">継続</td> </tr> </table>	内部評価	事業の方向性	B	継続
内部評価	事業の方向性					
B	継続					

施策の方向	②青少年の健全育成				
<p>主な事業内容と成果</p> <p>○高校生ボランティアサークル「ホップステップ」の活動支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動内容 2/15-2/17 姉妹都市交流（スタッフ協力） 9/2 子ども遊び天国「えんにち」（体験活動協力） 12/14 中高生との青少年推進員との懇談会 11/25 子ども伝承祭（スタッフ協力） <p>○姉妹都市交流の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2/15-2/17 古河市との少年少女の集い（真室川町会場、町内から小学5,6年生23名参加） <p>○子ども科学体験教室の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8/1 科学体験教室 町内小学生28名 <p>○放課後子ども教室の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動内容 5月-3月 あさひ小放課後子ども教室（小学1・2年生20名参加） 7/17 イバラトミヨ観察会 町内小学生7名、大人13名 6/16 トリウとハチョウトボ観察会 小学生5名、幼児4名、大人16名 					
<p>教育委員会の評価と今後の方針</p> <p>青少年に対し、関係団体と連携しながら社会活動やボランティア活動等の機会を提供するとともに、様々なイベントの参加を通じて、異世代等の交流活動や体験活動する場も提供することができた。</p> <p>今後は、参加機会の充実とともに青少年がより主体的に企画立案できるよう事業運営を工夫する必要がある。</p>					
	<table border="1"> <tr> <td>内部評価</td> <td>事業の方向性</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>継続</td> </tr> </table>	内部評価	事業の方向性	B	継続
内部評価	事業の方向性				
B	継続				

第3節 生涯スポーツの充実

施策Ⅰ 生涯スポーツ・レクリエーションの推進

施策の方向	①スポーツ環境の整備充実				
<p>主な事業内容と成果</p> <p>○必要な維持補修を定期的に行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民体育館 ケラバ補修工事、給水ユニット交換、非常用発電機修繕 ・総合運動公園 園路修繕 草刈機購入 ・町民武道館 鉄骨柱補強 <p>○各施設の利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民体育館 43,639名（H29年度39,795名） ・総合運動公園 20,123名（テニスコート含）（H29年度19,897名） ・武道館 610名（H29年度866名） ・スキー場・クロカンコース 4,111名（H29年度3,861名） 					
<p>教育委員会の評価と今後の方針</p> <p>より安全に施設を利用いただけるよう適切に整備し、備品等も更新した。</p> <p>今後も、経年劣化設備の補修を行いながら、利用者の利便性の向上を図るため、ニーズに応じたトレーニング機器やスポーツ備品の更新を行い、利用者の確保と町外利用者の拡大に務める。</p>					
	<table border="1"> <tr> <td>内部評価</td> <td>事業の方向</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>継続</td> </tr> </table>	内部評価	事業の方向	B	継続
内部評価	事業の方向				
B	継続				

施策の方向	②スポーツの生活化推進					
<p>主な事業内容と成果</p> <p>○スポーツに親しむ機会を作り、世代をこえた交流の場を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民レクリエーション大会の開催 6種目 286人参加 (H29年度 7種目 214名参加) ・各種スポーツ教室の開催 <ul style="list-style-type: none"> 出前軽スポーツ教室 63名参加 (H29年度 60名) 陸上教室 24名参加 (H29年度 23名) 						
<p>教育委員会の評価と今後の方針</p> <p>スポーツに関心を持ってもらうため、大会や教室を通してスポーツに携わる機会を提供してきた。今後は、より多くの人が気軽にスポーツに取り組む機会を設けられるよう、総合型地域スポーツクラブの設立を検討していく必要がある。</p>						
<p>外部評価委員の意見</p> <p>○高齢者でも、健康のために簡単にできるスポーツを広く知ってもらうために、自分たちの活動をPRしたり、勧誘できる日を設けたりして、広報活動をしてはどうか。</p>		<table border="1"> <tr> <th data-bbox="1125 555 1252 589">内部評価</th> <th data-bbox="1252 555 1439 589">事業の方向性</th> </tr> <tr> <td data-bbox="1125 589 1252 627">B</td> <td data-bbox="1252 589 1439 627">継続</td> </tr> </table>	内部評価	事業の方向性	B	継続
内部評価	事業の方向性					
B	継続					

施策の方向	③競技スポーツの振興・スポーツ団体の指導育成					
<p>主な事業内容と成果</p> <p>○体育協会への補助金や全国大会への出場激励金を交付し、競技スポーツの振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育協会補助金 810,000円 ・体育協会表彰 40名 (H29成績での表彰) ・中学校部活動振興補助金 609,170円 (県大会以上への補助) ・クロスカントリー振興補助金 310,153円 (練習合宿・大会・用品等への補助) <p>○各スポーツ団体の育成と指導者の質の向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定員育成講習会 3名参加 ・指導者兼育成母集団研修会 <p>○町体育協会の加盟団体が主催するスポーツ教室を開設し、選手の育成団体組織の充実に取り組んだ。</p>						
<p>教育委員会の評価と今後の方針</p> <p>中学生のみならず、高校生以上でも全国大会へ出場し、入賞する選手を輩出することができた。今後も、各スポ少や体育協会加盟団体が選手強化を図り、スポーツに親しむ子どもの拡大を図る。同時に子どもの発達段階に応じた適正な練習時間や休業日の確保等の方策についても検討していく必要がある。また、スポ少へ入団していない児童等をスポーツに親しみやすくし、スポーツ人口の拡大に繋げるため総合型地域スポーツクラブ設立について検討する。</p>						
		<table border="1"> <tr> <th data-bbox="1125 1406 1252 1440">内部評価</th> <th data-bbox="1252 1406 1439 1440">事業の方向性</th> </tr> <tr> <td data-bbox="1125 1440 1252 1478">B</td> <td data-bbox="1252 1440 1439 1478">継続</td> </tr> </table>	内部評価	事業の方向性	B	継続
内部評価	事業の方向性					
B	継続					

第4節 芸術文化の充実

施策I 文化・芸術活動の推進

施策の方向	① 伝承文化の保存・継承	
<p>主な事業内容と成果</p> <p>○山形県の「未来に伝える山形の宝」事業の補助が終了したことから、29年度から町単独事業として行った。伝承文化の保存継承のため、発表機会を提供するとともに研修会を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6/9 第5回甕山番楽奉納祭 ・10/28 番楽研修会（横手市） ・10/20 第26回番楽フェスティバル ・11/25 第16回ふるさと子ども伝承祭 <p>○山形県児童生徒版画作品展の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応募点数 947点（H29年度 1,118点） 応募校 28校（H29年度 35校） ・10/7 山形県児童生徒版画作品展表彰式 ・10/6～10/14 入選作品展示 		
<p>教育委員会の評価と今後の方針</p> <p>伝承文化については、町外での発表機会に対し団体の参加を支援することで団体の意識向上に努めた。今後も発表の機会や研修会を通じて、各団体の活動が継続されるよう支援するとともに、貴重な資料や映像等を後世に伝えるため、アーカイブスを作成する作業を行う。</p> <p>また、版画作品展については、学校の統廃合による応募校数の減少があるものの応募点数は横ばいであることから、県内学校において一定の評価を得ていると考えられる。小中学生の作品発表の機会であり、美的情操の高揚が図られている。</p>		
<p>外部評価委員の意見</p> <p>○各地区の番楽の映像を、電車の到着時間に合わせて流せないか。高校生が利用する時間帯には、ボランティア募集や高校生に参加してもらいたいイベントの募集等の情報提供も良いのではないかと。また、役場や病院の待合などで、番楽や町の豊かな自然の映像を流すなど、広報活動にも力を入れてほしい。</p>		

内部評価	事業の方向性
B	継続

施策の方向	②伝承文化による地域づくり	
<p>主な事業内容と成果</p> <p>○各番楽保存会が主体となって行う地域活動や発表の機会にアドバイザーを派遣し、適切なアドバイスを受けられるよう支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9/10 平枝祭での番楽公演会 ・9/12 八敷代祭での番楽宿公演 ・9/13 釜淵祭での番楽各戸悪魔祓い ・10/20 第26回番楽フェスティバル ・11/25 第16回ふるさと子ども伝承祭 ・2/9 釜淵行灯番楽 		
<p>教育委員会の評価と今後の方針</p> <p>県内の同様の保存会の現状や課題を聞くとともに今後の継承活動へのアドバイスをいただく良い機会となっている。</p> <p>特に番楽は町指定文化財となっているため、保存会と連携しながら、地域に根差した活動が行われるよう支援するとともに、各種助成金を紹介しながら道具等の更新も進める。</p>		

内部評価	事業の方向性
B	継続

施策の方向	③芸術文化団体の育成				
<p>主な事業内容と成果</p> <p>○芸術文化協議会の自主性を高めるため、事業内容の見直しを図り自主運営の指導に当たった。また、協議会への新規加入促進に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民芸術祭 発表 16 団体 ・協議会加盟 団体 19 個人 2 					
<p>教育委員会の評価と今後の方針</p> <p>自主性を高めるため事業運営を加盟団体同士が協力して行っている中で、積極的な声かけにより、加盟団体数を増やすことができた。</p> <p>今後も、加盟団体の会員確保を団体が積極的に行うよう支援していくとともに、広く活動紹介の広報を進めていく。</p>					
	<table border="1"> <tr> <th>内部評価</th> <th>事業の方向性</th> </tr> <tr> <td>B</td> <td>継続</td> </tr> </table>	内部評価	事業の方向性	B	継続
内部評価	事業の方向性				
B	継続				

施策の方向	④文化財の保存・希少動植物の保全保護				
<p>主な事業内容と成果</p> <p>○指定文化財巡回を行い、文化財の保護に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6/24 町指定文化財 ・7/23 国・県指定文化財 <p>○文化財を地域で守るという意識を高めるため、管理者や地元の協力を得て文化財の見学対応や適切な管理に努めた。</p> <p>○文化財保護委員会の会議を年2回開催したほか、文化財巡回等の文化財関連事業に対し委員の協力が得られた。</p> <p>○歴史民俗資料館企画展の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5/12～6/17 「神像展」及び講演会（講演会 5/26）（248 名来場） ・9/1～10/7 「沓澤貞春遺作展」（432 名来場） ・10/28～11/25 「チェーンソーアートの世界」及びデモンストレーション（10/28）（426 名来場） ・3/3～4/4 資料館「真室川雛人形展」（247 名来場） <p>○イバラトミヨやハッチョウトンボ、トキソウやサギソウ等の希少動植物の観察会を実施し、自然体験をしながら町の自然や希少動植物について学ぶことにより環境への理解に努めた。</p>					
<p>教育委員会の評価と今後の方針</p> <p>文化財の保護については、継続して調査を行っていくとともに、調査の結果については積極的に情報発信していくことで、町内資源のPRを行う。</p> <p>歴史民俗資料館については、収蔵品の展示以外にも企画展を行っているが、周知不足感は否めない。関心のある方々にピンポイントで情報を提供できるような広報の仕方が求められる。</p> <p>希少動植物の保全保護に関しては、まざれや体験塾や放課後子ども教室事業になどで学ぶ場を提供することができているので、その内容を広報などで適切に周知していく必要がある。</p>					
	<table border="1"> <tr> <th>内部評価</th> <th>事業の方向性</th> </tr> <tr> <td>B</td> <td>継続</td> </tr> </table>	内部評価	事業の方向性	B	継続
内部評価	事業の方向性				
B	継続				
<p>外部評価委員の意見</p> <p>○町民であっても、まだまだ知らない魅力的な活動や情報がたくさんある。広報、PR活動がまだまだ不十分だと思う。</p>					

第5節 地域活動の推進

施策Ⅰ 地域の特性を活かした学習活動の推進

施策の方向	①公民館分館活動の推進	
<p>主な事業内容と成果</p> <p>○分館対抗軽スポーツ交流大会を実施し、生涯スポーツの輪を広げ、地域住民のコミュニティを図ることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7/1 第23回分館対抗軽スポーツ交流大会（19分館 156名参加） <p>○差首鍋地区生涯学習センター（まされや）事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まされや体験塾（17講座実施） （七宝焼きブローチ作り、アクリルアートシャツ作り、トキソウとハッチョウトンボ観察会、七夕飾り、グルーガンコースター作り、夏休み絵画教室、湿原／不動明王の滝観察ツアー、Tシャツアート、簡単レリーフ作り、フリー体験塾、ピザ作り、キウイ収穫祭、新米おにぎり作り、門松&凧飾り作り、なしだんごづくり、手打ちうどんづくり、UVレジン作り） <p>○分館活動の中心となる分館長の研修会を実施し、分館長の資質向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3/19 真室川町公民館大会兼分館長研修会（34名参加） 		
<p>教育委員会の評価と今後の方針</p> <p>各種事業において、学習活動や自然体験、体験活動や軽スポーツによる交流活動の場を提供することができた。</p> <p>地域課題の解決や地域活動の推進を図るべく、町民の学習の場の提供や分館長研修を実施する。</p> <p>分館対抗軽スポーツ交流大会は参加者が減少傾向にあるが、軽スポーツを楽しみながら交流することによりコミュニティ活動を促進するため、実施時期や内容等の検討を行っていく。</p>		
	内部評価	事業の方向性
	B	継続

施策の方向	②地域活性化の推進	
<p>主な事業内容と成果</p> <p>○山形大学フィールドワーク（1回目：6/2～3 2回目：7/7～8） 山大生10名参加 「田舎暮らしで考える～豊かな暮らしをつくる生き方働き方」と題し、伝承野菜の畑見学やミニトマトの定植などの農業体験、わら細工作りなど体験メニューを通して、「豊かな暮らしとは何か」を考えるフィールドワークを実施した。</p> <p>○地域活動を推進するため、伝承文化を継承団体にアドバイザーを派遣し、指導や助言を行った。</p>		
<p>教育委員会の評価と今後の方針</p> <p>山大フィールドワークについては、真室川を知らない学生が、地域や自然を学び伝承文化を体験して、先入観の無い外部からの視点で、町への提言を発表した。この事業をきっかけに町に魅力を感じプライベートでも町を訪れてくれたり、継続的にイベントボランティアとして関わりを持ったりするなど、地域の活性化が期待できる事業であると考えているので、引き続き事業に取り組んでいきたい。</p> <p>また事業の実施にあたっては、より地域住民との接点を増やし、学生と地域の交流へと発展して行ける内容となるようプログラムを検討する必要がある。</p>		
	内部評価	事業の方向性
	B	継続

教育委員会の活動報告

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

1 教育委員会組織

○委員の就任状況

平成31年3月31日現在

役 職	氏 名	就任年月日	摘 要
教 育 長	門脇 昭	H30. 4. 1	1 期目
委 員	遠田 且子	H22. 12. 16	3 期目
委 員	井上 夏来	H27. 10. 1	1 期目
委 員	山田 敏一	H28. 10. 1	1 期目
委 員	鮭延 三枝子	H29. 12. 25	1 期目

2 町総合教育会議の開催

○第1回総合教育会議

開催日 平成30年10月24日

議 題 (1)平成31年度主要事業について

- ①学校教育事業関係
- ②子育て支援事業関係
- ③生涯学習事業関係

○第2回総合教育会議

開催日 平成31年2月27日

- 議 題 (1) 真室川町教育振興計画について
(2) 部活動のあり方に関する方針について

3 教育委員会の会議等の開催状況

教育委員会の会議は、原則として毎月1回（定例会・臨時会・協議会等）開催しています。この会議では教育行政の基本方針の決定、教育に関する規則の制定などについて審議します。

区 分	開催日	主な協議事項
協議会	H30. 4. 2	・教育長職務代理者の指名について
定例会	H30. 5. 22	・学校医等の委嘱について ・学校教育関係組織委員会委員の委嘱について ・真室川中学校評議委員の委嘱について ・いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について ・公民館運営審議会委員及び社会教育委員の委嘱について ・文化財保護委員及び歴史資料館運営委員の委嘱について ・青少年問題協議会委員の任命について ・青少年指導委員及び青少年育成推進員の委嘱について ・スポーツ推進委員の委嘱について ・教育予算補正案の原案について ・教育振興計画の策定について

協議会	H30. 6. 25	<ul style="list-style-type: none"> ・教育振興計画の策定方針について ・全国標準学力検査（NRT）の状況と対応について ・今後のスクールバス運行方針について ・子ども・子育て会議委員委嘱等について
定例会	H30. 7. 23	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 31 年度使用真室川町立小・中学校用教科用図書の採択について
定例会	H30. 8. 22	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会事務・事業点検評価の報告について ・教育予算補正案の原案について
協議会	H30. 9. 26	<ul style="list-style-type: none"> ・総合教育会議について ・「全国学力・学習状況調査」の町広報公表について ・教育委員会学校訪問について
協議会	H30. 10. 24	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会学校訪問について
定例会	H30. 11. 19	<ul style="list-style-type: none"> ・教育予算補正案の原案について
定例会	H30. 12. 18	<ul style="list-style-type: none"> ・教育予算補正案の原案について
協議会	H31. 1. 30	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動活動方針について ・教育振興計画について
定例会	H31. 2. 27	<ul style="list-style-type: none"> ・教育予算補正案の原案について
臨時会	H31. 3. 6	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員人事異動について
定例会	H31. 3. 25	<ul style="list-style-type: none"> ・真室川町教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則の制定について ・真室川町教育委員会外部評価委員設置規則の一部を改正する規則の制定について ・真室川町体育施設使用料減免規則の制定について ・真室川町中央公民館使用料減免規則の制定について ・平成 31 年度人事の審議について ・真室川町教育振興計画の策定について

4 その他の活動

(1) 真室川町教育振興計画策定委員会の開催

第 1 回 平成 30 年 10 月 11 日 第 2 回 平成 30 年 11 月 19 日

第 3 回 平成 30 年 12 月 20 日 第 4 回 平成 31 年 1 月 30 日

(1) 会議・研修等への出席

- 最上地区市町村教育委員会協議会研修理事会
- 最上地区市町村教育委員会協議会研修総会
- 最上地区市町村教育委員会協議会研修会
- 山形縣市町村教育委員会協議会定期総会・研修会
- 山形縣市町村教育委員会大会
- 山形縣市町村教育委員会教育長会議
- 山形県町村教育長会定期総会
- 東北町村教育長連絡協議会定期総会・研究大会
- 東北六縣市町村教育委員会連合会教育委員・教育長研修会
- 町議会との教育懇話会

(2) 学校等行事への出席

- 小中学校入学式、保育所入所式、こども園入園式、県立新庄神室産業高校真室川校入学式
- 小中学校・保育所・こども園運動会
- 小学校相撲大会
- 小学校学習発表会等
- 小学校スキー大会
- 小中学校卒業式、保育所修了式、こども園卒園式、県立新庄神室産業高校真室川校卒業式

(3) 学校等訪問

- 小中学校・保育所・こども園訪問